

平成30年度

# こども園の自己評価表

吉野川市立高越こども園

**【評価対象期間】**

平成30年4月1日から平成31年1月31日

**【評価責任者】**

吉野川市山川町町94  
吉野川市立高越こども園

園長 山口 昇

## こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

### 項目

#### ◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、0歳児から小学校就学前までの幼児の成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。 『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』について職員間で研修を深め共通理解を図っている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				子どもの心身の成長発達にとって極めて重要な時期の保育・教育に携わっているということを職員は十分に認識し、資質・専門性の向上に努めていきたい。指導計画や週案日誌等の形式や記録の方法など毎年見直し、一人一人に応じた援助を心がけている。 家庭訪問や個人面談などで子どもとその背景にある家庭や地域の実態を聞き取り知り得た情報を保育計画に取り込む。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				子どもの生活リズムに配慮し、興味や関心を大切にしながら、発達に合わせたプログラムに取り組んでいる。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				保護者役員会で年間行事について決定し、実行している。 アンケートをとり保護者の意見を聞き、できる範囲での改善に取り組む。また、年齢や興味に応じたねらいを達成するために、職員会議などで意見を聞きながら進めている。 園児と共に実施する行事については計画的に全職員が責任を持って取り組んでいる。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				シフト勤務のため、各クラス連絡をとりあい、応援に入ったり協力しながら職種・経験年数等を考慮した職員配置が十分とはいえない中、全職員が協力できる体制づくりを実施している。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				毎日朝の決まった時間にミーティングを行うようにし、全職員で子ども達や子ども園の情報を共有できるようになった。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				個々の子どもの実態に合わせた目標や援助について話し合い実践している。 年齢別・園全体と保育についての計画表を事前に提出し、振り返りがスムーズに行えるような組織作りを考え実践していきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				感染症については、入園時や季節に応じてお便りを出し周知に心がけている。 感染症が出た場合は、掲示し保護者に注意を促している。
(2) 避難訓練・防犯安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○					
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○					
つ 情 報 に 関 し	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報保護方針に基づき、職員は保守義務を遵守している。重要事項説明の中で保護者に、個人情報の取り扱いに関する説明をし、同意書を提出してもらっている。 公文書收受、発送等は適正に処理している。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				施設設備については、毎日の清掃等の時に点検し、安全で衛生的な環境を整えている。 遊具については安全点検を業者に依頼し、危険箇所については、早急に対応するようにしている。防犯研修として警察署に依頼し不審者対応の研修を取り入れた。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出 納 経 理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				監事に年1回監査を受け、監査報告をしている。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			隣接している小学校と交流する機会を持つことができた。就学时健診の結果を踏まえて小学校との情報交換を行っている。就学に向けては指導要録を作成し引き継ぎを行い、スムーズな移行ができるようにしている。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		保護者以外を対象とした参観の持ち方は、これからの課題である。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○		保育参観、保護者研修会、個人懇談等を持ち、保護者の意見や相談に対応している。 児童発達支援事業所どんぐり、きりん教室と連携を取り情報交換を行っている。市の保健師と発達支援センターきりんの職員による巡回訪問を年4回実施し、子どもの発達や個別の支援方法について指導を受けている。 園庭開放(月2回)一時預かり事業を実施している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				こども園だよりは毎月発信している。クラスだよりは年3回発信し、園内掲示をし日頃の保育を知らせている。行事などについては様々な関係機関と連携し情報を共有している。 園庭開放についてはパンフレットで周知している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	保護者へ運営などに関するアンケートをとりその結果を受け止め、職員全体で問題を認識し保育に取り組むようにしている。
(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○					